

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	印南中学校	野田 明
学校所在地		
〒 649 - 1534 和歌山県日高郡印南町印南2145 tel 0738 (42) 0021 fax 0738 (42) 1042		
担当者名		役職名・担当教科
清水 康利		教諭・社会科
〔学校の概要〕 本校は日高郡中部の海岸沿い、国道42号線に面した所にあり、漁業と農業がさかんな地域である。全校生徒は108名で、とても明るく活動的である。また学校行事や体験活動にも積極的で、意欲的に参加している。また地震・津波・火災などを想定した、防災教育や防災訓練も充実している。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 2年生 37名	5名 職員 5名	世界遺産センター
実践研究テーマ		
郷土「わかやま」を学び、後世に伝える知識の育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	ふるさと学習 ～和歌山が誇る世界遺産～	
〔キーワード〕 ふるさと学習 世界遺産学習		
〔単元目標〕 <ul style="list-style-type: none"> ・「紀伊山地の霊場参詣道」が世界遺産に登録された過程を学ぶことで、郷土和歌山に対する理解を深める。 ・現地学習を通して、和歌山の歴史を体感するとともに、環境維持や自然保護など後世に伝えていくために必要なことを考える力を育む。 		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 10時間 （「ふるさと学習～和歌山が誇る世界遺産」 10時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産センターに訪問し、職員の方から世界遺産についての講話をしていただいた。 ・現地で、世界遺産マスターの方から道を歩きながらガイドをしていただいた。 		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	事前学習（本校）	世界遺産センターのホームページにあるパンフレットを利用して、読み合わせや補助説明を加えながら事前学習を行った。	ワークシート
2	世界遺産講座（世界遺産センター）	世界遺産センターの金井さんから、世界遺産の歴史や、「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要を説明して頂いた。	観察・ワークシート
3	現地学習 （三軒茶屋～熊野本宮大社・大斎原）	世界遺産マスターの方々の説明を聞きながら、三軒茶屋から熊野本宮大社、大斎原まで4班に分かれて歩いた。	観察
4	振り返り（本校）	現地学習の後日、感想文を書かせ、振り返りを行った。	感想文
5 ～ 10	まとめ学習	見学から学んだことに加え、自分たちで世界遺産・「紀伊山地の霊場と参詣道」について調べ学習を行い、プレゼンテーションソフトを活用してまとめ、発表した。	完成した資料

〔単元学習の成果と課題〕

生徒は和歌山県の歴史についての知識があまりなく、普段の授業の中では触れる機会が少なかったため、この事業を通して、和歌山県の歴史を学び考えることが出来た。また現地に行き、実際に体験することで、自分たちの郷土である和歌山県の良さや将来の人々に伝えていかなければいけないことを考えることができた。見学後、様々な資料から情報を収集し、学んだことに加えて自分たちで調べたことを各班で協力してまとめ、学習発表会で発表することが出来た。

〔世界遺産学習の効果〕

世界遺産の学習については普段の学校生活では触れることが少なく、このような機会をいただいたことで、普段の授業では教えることのできない貴重なことを学んだり、体験したりすることが出来た。特に現地学習については、参詣道を歩くたびに生徒の表情が大きく変わり、今まで知らなかった和歌山の自然や歴史を肌で体感することで出来た。歴史を学ぶだけでなく、後世に伝えていくためには、郷土をより深く知るだけでなく、自然保護や環境保護などの取り組みが必要になってくると考えることも出来た。この学習で学んだことを生かし、郷土和歌山を誇りに思える人材を育てていきたい。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

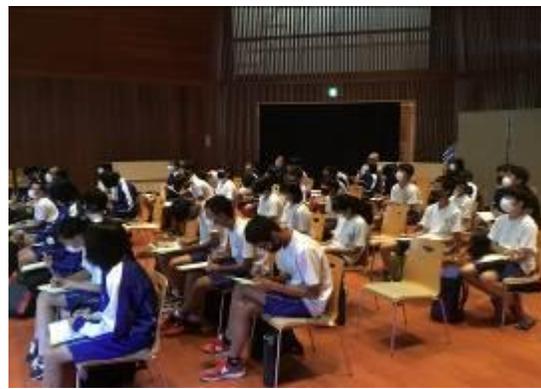
1年次では、ふるさとの偉人について学習を行い、今回は和歌山の世界遺産について現地学習を行った。来年度は高野山に社会見学に行く予定である。中学校生活の中で、ふるさとの良いところを理解し、後世の人々に伝えていく努力を生徒たちに考えさせていきたい。もう少し体験的な活動を増やしていきたいと考えている。（道普請の参加など）

様式 2

令和3年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

○世界遺産講座を受講している様子



○現地学習の様子



○生徒の感想

- ・世界遺産は未来の人に受け継いでいかないといけない貴重な文化財だということが分かった。
- ・熊野古道を歩いたときは、生えている葉や木の使われ方についても知れた。
- ・ICOMOS、IUCNという機関が世界遺産になるまでの現場の調査を行うことを始めて知った。
- ・世界遺産はみんなから受け継がれてきたものだからもっと世界遺産について知り、大切にしようと思った。
- ・いろいろな道や建物について知ることが出来て良かった。
- ・次に熊野古道に来るときがあったらゆっくり自然を感じたい。
- ・三つの霊場とたくさんの参詣道の広い範囲で世界遺産ということに驚いた。